

★惠原 要（デザイン・工芸部）が鹿児島県職業能力開発協会長表彰を受賞

鹿児島県職業能力開発協会が開催する技能検定で、検定委員を務めた惠原 要（デザイン・工芸部）が、6月6日に同協会長表彰を受賞しました。

この技能検定は、技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度で技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。昭和34年に実施されて以来、年々内容の充実を図り、確かな技能の証として各職場において高く評価されています。

惠原所付は、1級及び2級の内装仕上げ施工職種（プラスチック系床仕上げ工事作業）の技能検定委員として、毎年行われる実技試験の審査で受

験者の技能を評価してきました。

今回は、技能検定委員としての永年の功績をたたえての受賞となりました。



★（株）ストーンワークスが地域貢献賞を受賞

当センターと「シラス緑化基盤材」を共同開発しました大崎町の（株）ストーンワークスが、JVA（Japan Venture Award 2006）地域貢献賞を受賞しました。同賞は、創業・ベンチャー国民フォーラム（経済産業省中小企業庁委託事業）の主催で、新ビジネスで成功し地域に貢献した企業家を表彰するものです。地域貢献部門では、全国9ブロックからそれぞれ1社が選ばれて表彰されています。

当センターと共同開発した「シラス緑化基盤材」は、すでにビルの屋上や市電の軌道敷などの緑化基盤及び舗装用ブロックとして使われています。断熱性や保水性に優れ、軽量で芝がよく根付くことからヒートアイランド現象の緩和に効果があると期待されています。その他にも、透水性に優れ軽量で加工しやすいことから、畜舎の床材や園芸用鉢などとしても利用されています。

今回の受賞は、土砂災害などの元凶として南九州の厄介者であったシラスを工業製品としてうま

く利用したことが高く評価されました。

また、同社は、今年1月に発表された（財）かごしま産業支援センター主催のかごしま産業技術賞でも「シラス緑化基盤材」が評価され、特別賞（県知事賞）を受賞しています。



シラス緑化基盤材